

研究所での英世の研究は、すさまじいもので、自分の研究は、全部自分の手でやり、自分の眼で確かめるといって徹底した研究でした。実験動物の世話まで、夜中に起きて調べるほどでした。試験管洗いも、全部自分でやりました。もしも、助手が洗って、試験管に雑菌が入っていたら、せつかくの研究がむだになる。自分の研究に責任を持つことが大切だと考えていたのです。

だから、眠る時間がないほどでした。

「野口は、いつ眠るのだろうか。」

